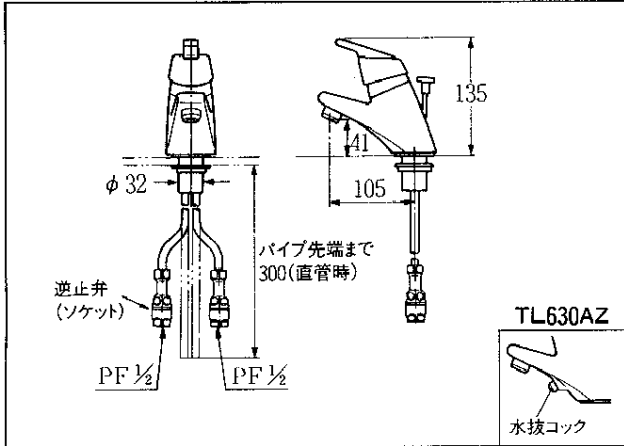


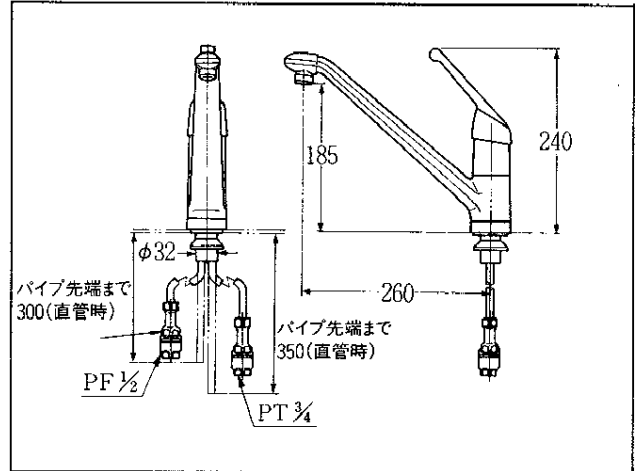
“エレガント”シリーズ シングルレバー混合栓取付説明書

完成図

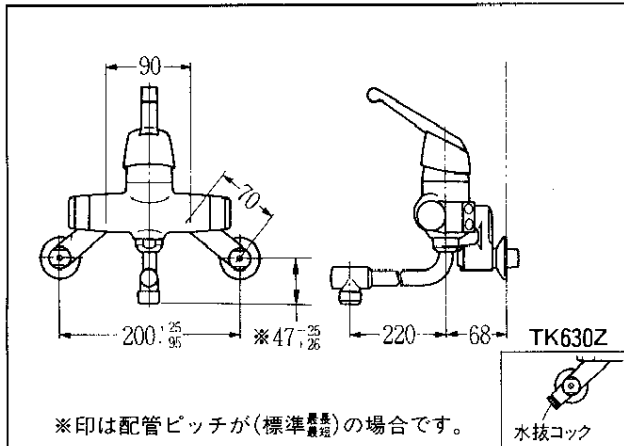
TL630A・TL630AZ
(一般用) (寒冷地用)



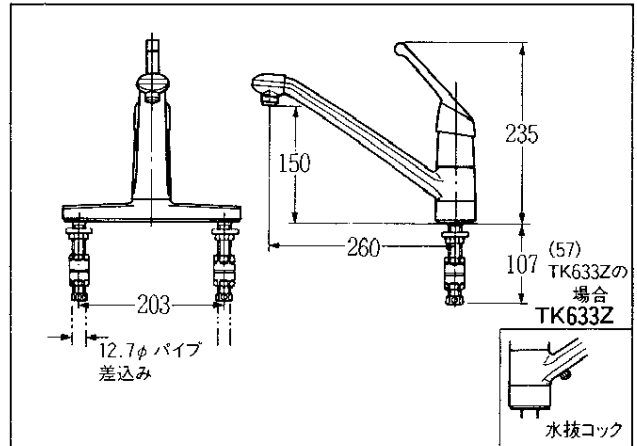
TK631J



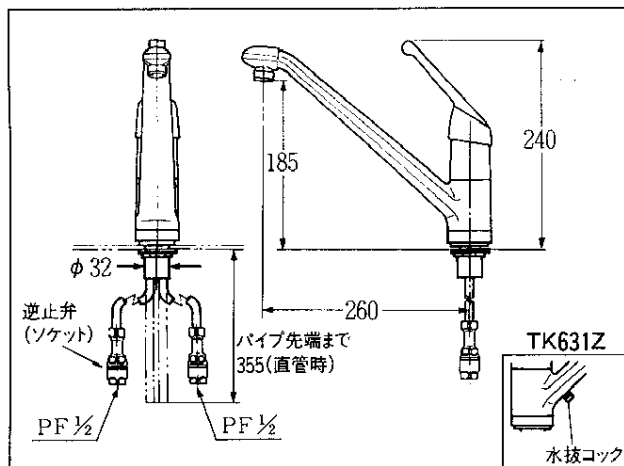
TK630・TK630Z
(一般用) (寒冷地用)



TK633・TK633Z
(一般用) (寒冷地用)



TK631・TK631Z
(一般用) (寒冷地用)



使用条件

1. 使用水压

(1) ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水压………(表参照)
最高水压………7.5kgf/cm²

湯沸器号数	最低必要水压
8号	湯沸器の最低作動水压 +0.6kgf/cm ²
10号	// +0.9kgf/cm ²
12号	// +1.1kgf/cm ²

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

8号	湯沸器の最低作動水压 +0.9kgf/cm ²
9号	// +1.0kgf/cm ²
10号	// +1.1kgf/cm ²

以上は下記条件を想定して求めた水压です。

- レバーハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 夏季水温 25℃
- 給湯配管長 5m
- 吐水温度 42℃

(2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水压………0.5kgf/cm²
最高水压………7.5kgf/cm²

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。
3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し配管には必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

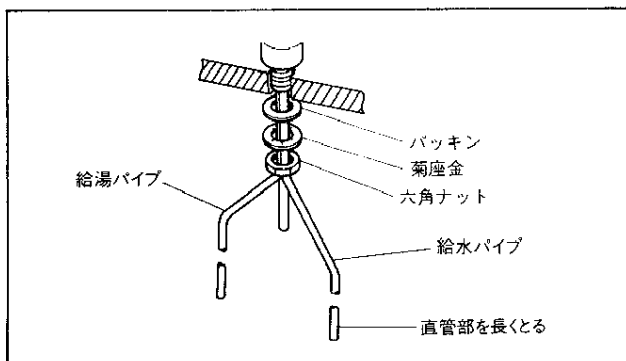
1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

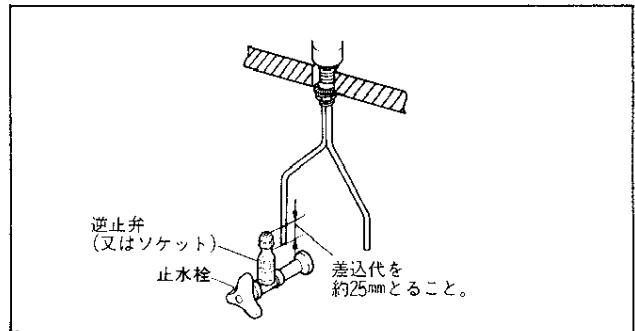
2. 混合栓本体の取付け

TL630A・TL630AZ
TK631・TK631Zの場合

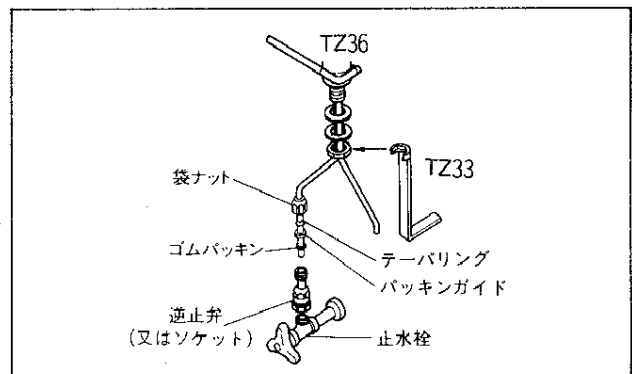
(1) 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げて上げます。このとき、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。



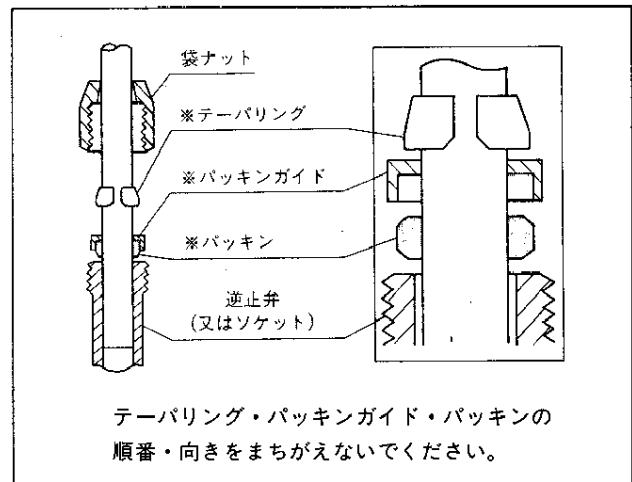
(2) 逆止弁を止水栓に仮固定して、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断します。このとき、逆止弁（又はソケット）への差込代を約25mm確保してください。



(3) 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、ゴムパッキン、の順に入れて、逆止弁（又はソケット）を差込んでください。次に逆止弁（又はソケット）を止水栓にねじ込み、混合栓本体を本固定してください。固定には別売のナット締付専用工具（TZ33、TZ36）を利用して確実に締めてください。



- ※混合栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セバレート紙をはがしてください。
- ※テーパリング接続方法



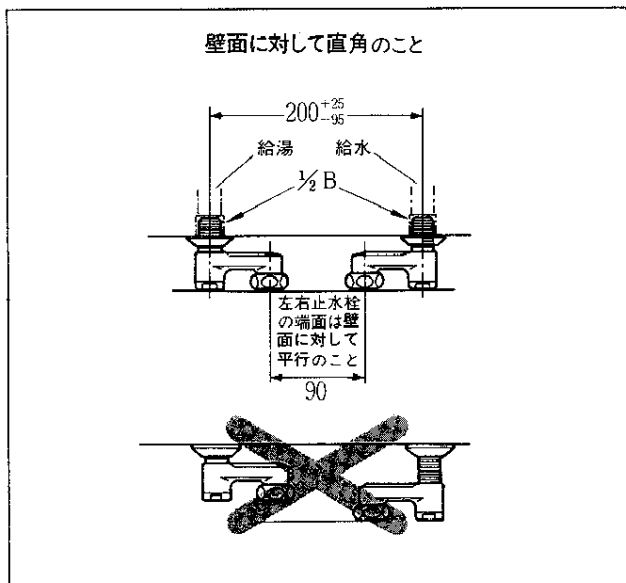
(4) 最後に給水・給湯パイプを逆止弁（又はソケット）に押し付け、手締め後1回転以上締付けてください。

注：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は、動かないように確実に固定してください。

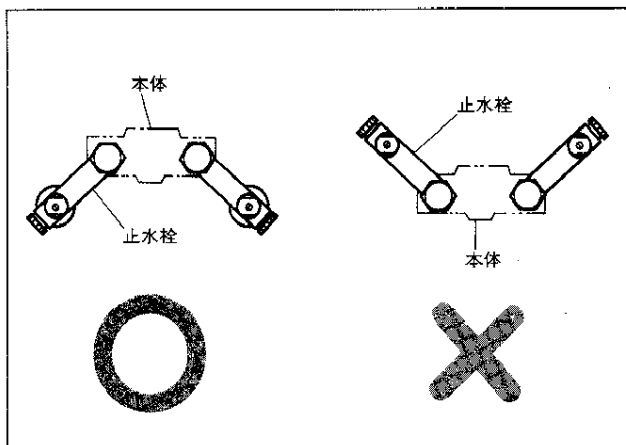
※TL630A・TL630AZの取付上の注意

ポップアップ式排水金具の施工時には引棒のつまみをいっぱい押し下げたとき、本体及び排水管にあたらぬように適度に調節してください。

TK630・TK630Zの場合

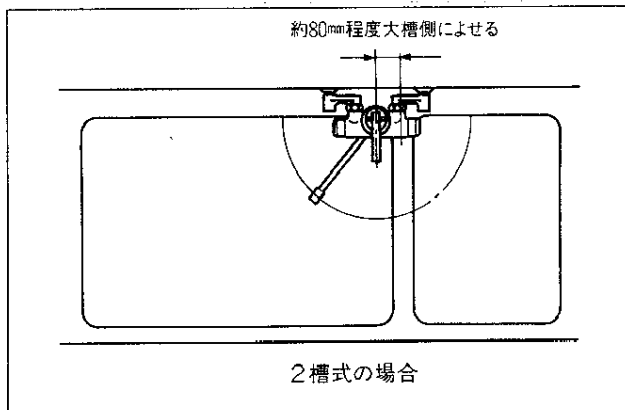


※止水栓の取付位置が本体よりも上になると、寒冷地用 (TK630Z) の場合は水抜きができませんので必ず下になるように取付けてください。



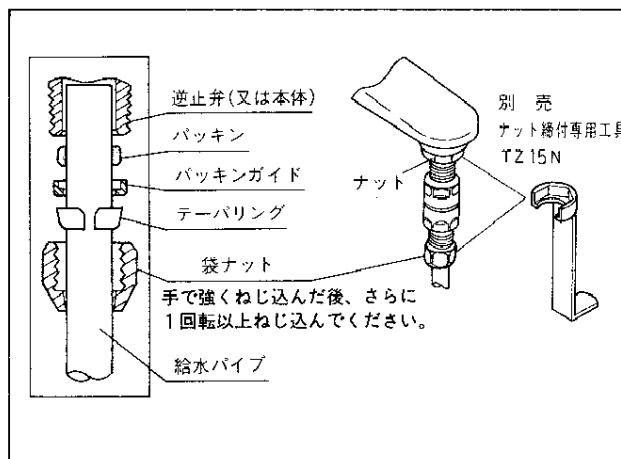
※取付位置

混合栓は流しが1槽式の場合は槽の中央に取付けてください。
2槽式の場合は図のように2槽の中央より約80mm大槽側に寄せるとより使いやすくなります。



TK633・TK633Zの場合

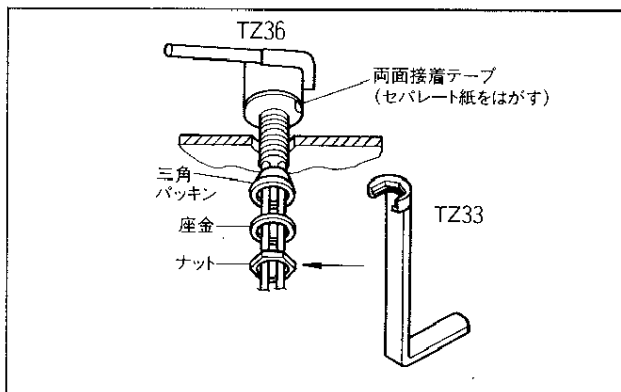
・水栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、別売のナット締付専用工具TZ15Nを利用して確実に締付けてください。



※差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

TK631Jの場合

・水栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。また、固定には別売の締付専用工具 (TZ33・TZ36) を利用して確実に締付けてください。



※水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、止水栓を併用してください。

寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご指導ください。

1. レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)に下げる。
2. 水抜コックを開く。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 普段からまめに柔らかい布でみがき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがくこと。ただし樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

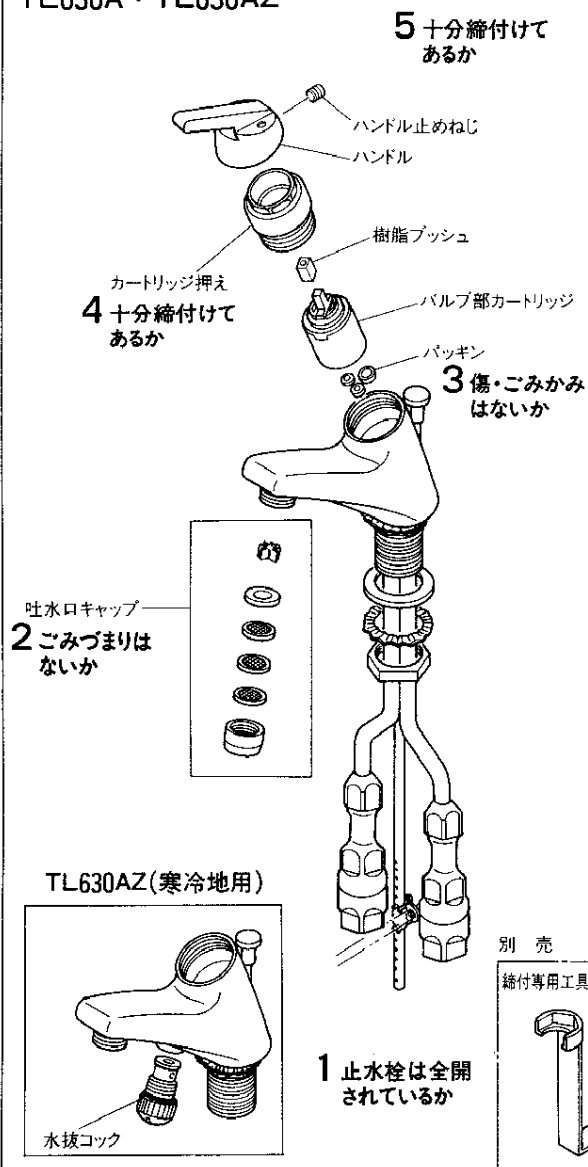
取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

ご注意

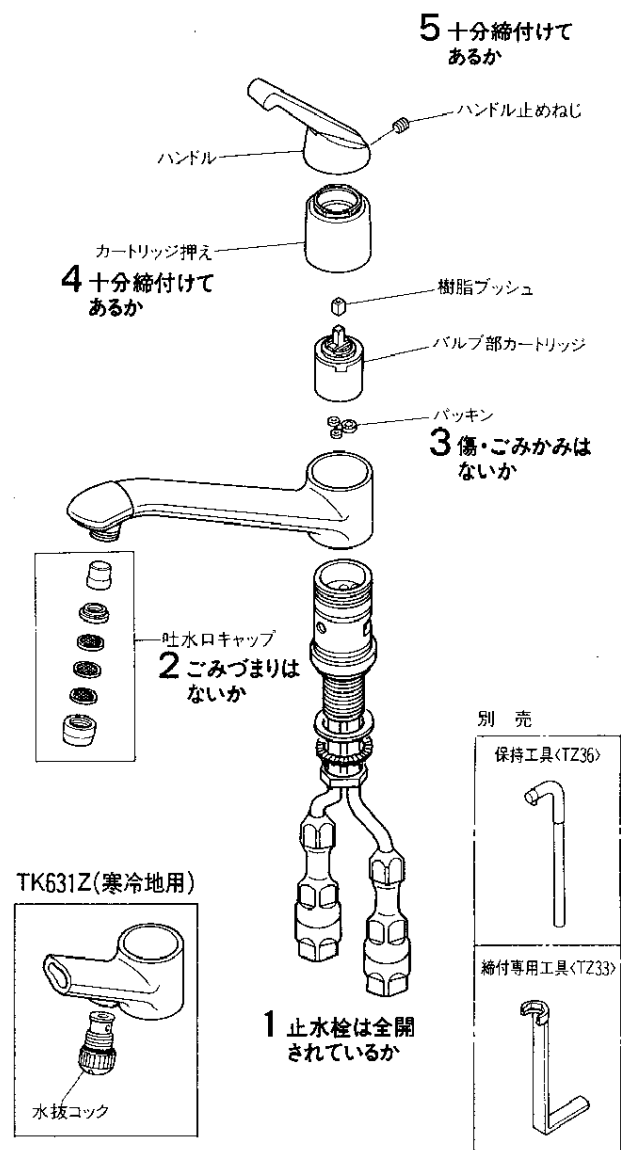
バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1・2
水が止まらない ハンドル部から水が漏れる	3・4
吐水温度不良	1・2
ハンドルがガタつく	5

TL630A・TL630AZ

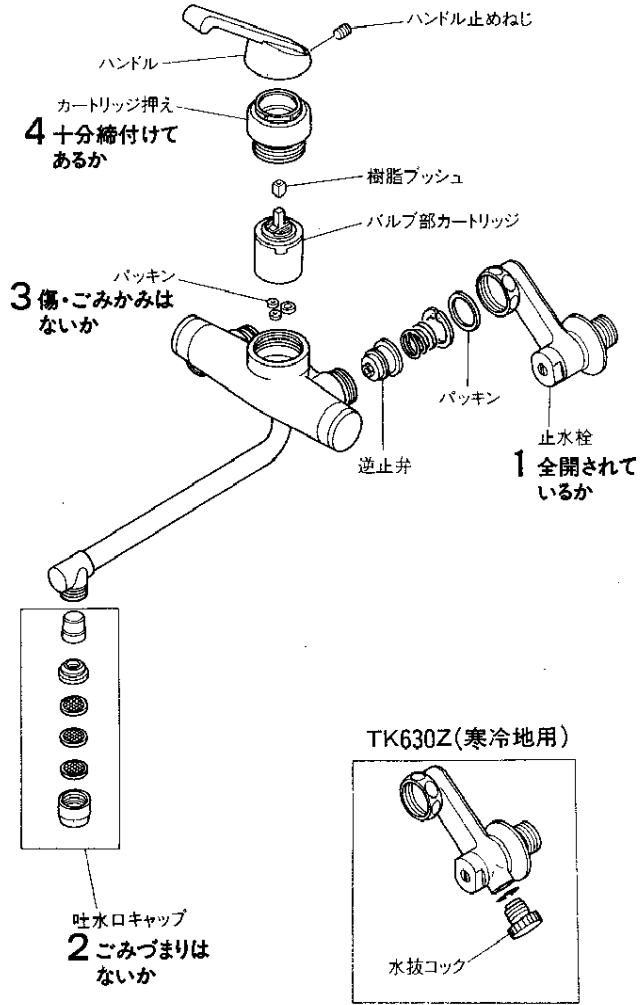


TK631・TK631Z・TK631J



TK630・TK630Z

5 十分締付けてあるか



TK633・TK633Z

5 十分締付けてあるか

